

経済倶楽部便り

◆東京◆ 6月の講師として8年ぶりに元日経新聞編集委員の前田昌孝氏に来て頂きました。

日本とアメリカの株式市場の実態をデータに基づいて辛口トークするのが身上の方です。今回も年金制度破綻の不安がある時代に、高校教科書で始まったマネー運用に関する記述や金融庁ホームページでのこちらにも資金運用に関するいささか甘い見通しへの疑問を呈されました。また、著名な投資家であるバフェット氏の投資成果がS & P投信の累積効果に負けているなど、日頃目に出来ない内容が多くあり新鮮でした。次号の8月号に掲載されます。

4月の新会員をご紹介します。日立総合計画研究所の矢野和彦様、帝国倉庫会長の大原亘様、みずほ銀行頭取の加藤勝彦様、同日本橋法人第二部部长の佐藤仁様、日本投資環境研究所社長の米沢亮様、同取締役の飯田武彦様です。

8月の定例講演会は休会します。

◆中部◆ 6月は武者リサーチ代表の武者陵司氏に来て頂きました。米国、日本株への強気姿勢は変わりませんが、これまで世界で趨勢的な低金利が続いた背景には新産業革命による供給力の拡大があると。そのため、デフレギャップからお金が滞留し低成長を生んだ。そこから抜け出すには財政政策、金融政策、賃上げなどの所得政策の総動員が不可欠だと話されました。

8月の定例講演会は休会します。(日暮良一)